

第9回合志市地域公共交通協議会

[日 時] 平成21年8月6日(木曜日) 午前9時30分

[場 所] 合志市役所西合志庁舎 3階大会議室

[出席者] 別紙のとおり

1. 開会

[事務局]

それでは定刻になりましたので、ただいまから始めたいと思います。先ず挨拶を行いたいと思いますので、ご起立をお願いいたします。

(起立) おはようございます。

お座りください。それではただいまから第9回合志市地域公共交通協議会を開催いたします。私、本日進行を務めます、企画財政課政策企画班長の中村と申します。どうぞよろしくをお願いいたします。それでは中園会長より、まずご挨拶をお願いします。

[中園会長]

ようやく梅雨が明けましたけれども、本当に朝から暑い中にご出席いただきましてありがとうございます。本年度の協議会につきましては計画に基づきまして作業を具体化しております。前回の審議会では、温泉直行バスとパークアンドライドを承認いただきまして、7月から早速実行に移しております。後ほど事務局から状況説明があると思います。

8月1日にエーネーションという大きなイベントが農業公園でありましたけれども、主催は市ではありませんでしたが、渋滞するのではないかと相当ご心配おかけしましたけれども、おかげさまで、大した渋滞も無く、他の苦情も無く、大成功だったと思っております。農業公園であんなイベントができたということは、県にとっては勿論ですが、合志市にとりましてすごい大きな収穫だったと思います。また、ああいった話がありましたら、市としては積極的に動いていきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願ひしたいと思ひます。本日の議題につきましては、環状バスと乗り合いタクシーについてお願ひしたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

[事務局]

ありがとうございました。それでは本日の出席者につきましてご報告いたします。お手元の2枚目3枚目に本日の出席者名簿があると思いますが、本日は9番の園田委員、それから、先ほどご連絡ありました、22番の守田委員がご欠席となっております。代理出席の方は名簿のほうでご確認お願ひしたいと思ひます。よろしくお願ひします。

それでは本日の会議資料の確認をいたします。

会議資料の確認です。お手元に、次第と受付の際の席次表、出席者名簿、インデックスをつけております資料1,2というホッチキス留めの資料、最後にもう一つA4縦のホッチキス留めで直行バスの概要という形で資料を用意しております。資料に不備等ございませんで

しょうか。

それでは議題に移りたいと思います。進行につきましては、本協議会起案に基づきまして会長お願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

[中園会長]

それでは早速ですが、議題 1 番、環状バスについてお願いしたいと思います。その前に、温泉直行バスの状況について説明をお願いします。

[事務局]

先ず、環状バスに入ります前に、今ありましたように、直行バスの資料をホッチキス留めの A4 縦の資料でございます。こちらの調査の現状で整理ついております状況を報告いたします。

それでは資料に基づいて説明をいたします。

先ず、調査の年月ですが、7 月いっぱい 1 コースと 2 コースを走りましたうち、11 日から 17 日までの 1 週間、全ての曜日についてバスに同乗しまして、聞き取り調査をした結果です。まず、利用者の対象としては 70,80 代の女性がほとんどで、男性のほうは特定の人に限られております。これは通常の循環バスと同じような状況です。また、この直行バスを利用された方も循環バスの利用者が中心でありました。それから、循環バスを常に利用しているという方が、週に 2 回通るわけですが、週に 2 回以上、或いは 2 回乗っていますという方が、この直行バスのほうにも乗られました。常にたくさん循環バスを利用して温泉に行かれる方が、便数が増えたので、この日も乗りました。というのが実態でありました。それが、利用者の特性です。2 番目の目的地は、これは温泉直行バスでしたので、ほぼ全ての方が老人憩いの家、又はユーパレス弁天に行かれました。若干名ですが、御代志駅で下車をして熊本市内に出かけたという方もありました。この方は通常の利用をしているという方です。この場合は、具体的には循環バスのほうの同乗調査もいたしましたので、循環バスを利用した、という形になります。3 番、直行バスの利用頻度ですが、実験が始まって 10 日ぐらいたったときの 1 週間ですが、直行バスを週に 1、2 度利用しているということです。既存の循環バスと合わせると 2 回から 4 回、バスを利用して温泉に行くという頻度の利用の方が多かったということです。よく利用する曜日は、火曜日で、この火曜日は憩いの家でカラオケがある日になっておりますので、この日に合わせて乗ったという方が多かったようです。それから、循環バスと比較して直行バスのよいところはどこかということですが、やはり、時間短縮と少ないという利点は評価をされております。特に、城、上生、江良、合生といった北部に居住する方については、時間短縮効果が大きいようです。特に帰りの便につきましては従来に比べて疲労が少なくすむという好評の意見がありました。しかし、直行バスで御代志駅や西合志庁舎に行くことができないということで、こういう所を利用する頻度は少ないけれども、直行バスだけになってしまうと困るという意見がありました。6 番、直行バスや循環バスは毎日運行が必要ですかという問いに対しては、毎日出かけることは無いので、週に最低 2 回程度あれば助かりますという意見が多かった

ということです。次に 2 ページに移りまして、続きですが、実際に循環バス或いは直行バスに 1 週間毎日乗ったという人には出会いませんでした。直行と循環と両方あればいいにこしたことはないが、今まで走っておりました循環バス、それでも構わないという意見がありました。一方で、直行バスだけでいい、短縮コースだけでいいという意見は聞かれませんでした。むしろ温泉利用の目的が多いので、運行する時刻、曜日の設定を、例えば火曜日に入れるようにしてほしいという意見は多く聞かれました。最後に 7 番で、循環バス、直行バスというのは財政負担がかかりますが、今 100 円のところを 200 円にしてでも残したほうがいいかという聞き方をしたところ、自分が運転できない交通弱者である高齢者や、唯一自分の力で出かけられる交通手段であるので、是非、残してほしいという意見でありました。最後は表がありますが、これは同乗調査だけではなく、1 ヶ月間通しての実績です。これは短縮コースのみの、直行バスのみの実績です。コース 1 というのは、上生から野々島を通して、ユーパレス、憩いの家に行くというコースです。これに 1 ヶ月間で 46 人、憩いの家発は 51 人となっておりますが、行きは別の手段で行って、帰りはバスに乗ったという方もおりますので、少し数は一致しませんが、ほぼ 50 人ぐらいの方が利用をしました。コース 2 は高木から出発しまして、江良や合生を回って憩いの家に行くコースですが、ここは半分ぐらいの 20 人ぐらいの方が利用したということです。これは、あくまでも直行バスのみの実績ですので、この他にも通常通りの循環バスがありますので、もう少し実際に出かけた方は多いですが、これぐらいの実績に止まりました。以上です。

続きまして、次のページから、循環バスの乗客の推移について、ここ 1 年間の月別の推移の報告をいたします。下にページ 1 と入っておりますが、グラフが 6 個並んでいるページです。現状の循環バスにつきましては A から F コースまで 6 コース、それぞれ週に 2 回ずつ運行をしております。その月別の推移を載せたものです。ほぼ、この 1 年 3 ヶ月、平成 20 年の 4 月からこの 6 月までの月別の折れ線グラフですが、季節によって農繁期は出かけられないなど、地域的な特徴があつて、それぞれ多いときと少ないときがありますけれども、ご覧の通り、グラフの右の縦の 3 つ、これにつきましては、ほぼ横ばいで推移をしているという状況がみられます。これはエリアでいいますと旧西合志地区の中を走っている循環バスです。右半分が旧合志地区を走っている循環バスですが、1 番のピンク色の B コース、一番下の青い F コース、これにつきましては、特に F コースにつきましては増加傾向が顕著に見られます。F コースというのは後川辺から上庄を通してヴィーブルを通して、永江団地から西合志に回り憩いの家に行くというコースですが、これにつきましては、運行が定着をしてきた効果がありまして、徐々にお客さんが増えているということと、火曜日と金曜日の運行になりますが、両曜日を比較してみますと、火曜日のほうが金曜日より若干多いと、先ほど言いました火曜日はカラオケが憩いの家である日ですので、そういった温泉客が定着してきている、それから永江団地を通りますので買い物のお客さんも定着をしてきているということで、長くやっております F コースだけにつきましては特に定着効果でお客さんが増えているという状況が見られます。こういう実績も踏まえて今後の直

行バスでデータが集まってきておりますので、また、聞き取り調査をとりますので、現状の循環バスがいいのか直行バスがいいのか、それから、直行バスに切り替えたときには、買い物に行く代替手段としてのタクシー等の利用をどうするかというようなことを実験していくことになります。タクシー等の実験を今日説明するという予定です。

[中園会長]

ありがとうございました。

直行バスの実験の状況と循環バスの状況を説明いただきましたが、何かご質問ありませんでしょうか。無いようでしたら議題のほうを進めたいと思います。

議題2の環状バスの実験運行について、事務局からご説明お願いいたします。

[事務局]

お手元の①というインデックスの資料を開いていただきたいと思います。こちらが前回までに運行の計画等についてご審議いただいて、こういう運行形態で運行するという内容で内容を詰めてきたものです。これが、印刷そのものの構成になります。両面になりますが、表が地図で、裏面が時刻表になっております。これは本日構成をかけて修正をした上で、チラシ印刷製本いたしまして、市民の皆様にご各世帯全戸配布という形をとらせていただきたいと思っております。見方といたしましては、文言等ご指摘があれば修正等もしたいと思っておりますので、よろしくごお願いいたします。上のほうに9月から12月までの期間限定という書き方をしております。それから、右回り左回りの運行をします。ということです。バス停の名称につきましては、電鉄さんと協議をしまして、既存のバス停の名称等を利用させていただいております。それから裏面ですが、こちらは時刻表です。左側が青い囲みで左回り、右側が赤い囲みで右回りの時刻表です。それぞれ、左側に番号をふってあるのがバス停の番号、地図の番号と整合しております。平日の緑の分とオレンジ基調の土日祝日運行分ということで時刻表示をしております。ここで計画通り約45分で通常平日1周という形で、光の森を経由しますと、だいたい1時間で1周してくるような形でダイヤを組んでおります。この光の森駅への乗り入れに関しましては、菊陽町とも協議が済んでおりまして、乗り入れは支障が無いということで、光の森駅にロアツソのバス停がありますが、そちらの横に合志市の環状バスのバス停を置かせていただくようになっております。チラシはこのような形です、後ほどご意見等いただきたいと思っております。

続きまして、時刻表の次のページに綴じております、環状バスを発車したときの、お客さんへの聞き取り調査の内容についての説明です。環状バス乗客聞き取り調査表（調査員記録用紙）とあります。この記録用紙を持って乗り込んで、実際にお客さんにお話を聞く、という内容です。不足等があれば、ご意見いただきたいと思っております。まず上の四角囲いの中は、調査の曜日ですとか、どのコースに乗ったかという記録です。四角で項目がありますが、性別、年齢、同伴者の有無、本人が運転免許を持っているかどうか、通常家族等の送迎が可能な状態にあるのか、無いのかということをお聞きします。それから、自宅の最寄りのバス停、今日の乗車の目的地、環状バスの利用、今日は何回目ですか、ということで聞

きます。これは運行がはじまりまして、前半と後半と 2 回ぐらいに分けて聞くということになりますが、その時点で、何回目に乗ったかということを知ります。それから、よく利用する曜日、既存循環バスを利用しているかどうか、利用している場合は環状と循環とどのように使い分けるかということを知ります。この 4 ヶ月の実験期間中にはありますが、通常、今、行っている循環バスの運行を平行して行いますので、使い分けを聞くということです。それから、環状バスの改善点ということで時刻、ルートの設定、料金、車両、既存の環状バスや路線バス、或いは電車などとの連携をもっとどうすればいいか、利用者の実態、ニーズをお聞きします。次に環状バスは実験期間中 100 円で運行するという予定ですが、あくまでも実験期間中の料金設定でありまして、将来的には料金負担が増えてもこの環状という新しいバスのサービスを存続させたいのか、或いは、そこまで利用する価値はないですよ、という判断をされるのか、その辺も聞きたいと思います。10 分ぐらいの間に聞いてしまえる内容ということで考えております。おそらく 1 回転で 45 分、実際に乗られる時間は 15 分から、長くても 20 分ぐらいのお客さんがおられると思いますので、その中で聞ける範囲ということで設問を設定しております。以上です。

もう一つ最後に、環状バスのマグネットシートのデザインです。これは温泉直行バスの時もマグネットシートで貼りましたが、今回環状バスのデザインをこういう形に、前回はブルー基調で車体色と同じような色だったものですから、はっきり見えるように緑色の基調でデザインしています。またご意見がありましたら伺いたいと思います。以上です。

[中園会長]

ありがとうございます。環状バスの運行計画と、聞き取り調査表について、ご意見がありましたらお願いします。

[吉永委員]

以前も時間のことを申し上げたと思います。公共交通としての目的を調査するというところで、やはり通勤、通学時間に設定を考えたほうがいいのではないかと協議しましたけれども、9時から4時、通学、通勤に使う方はほとんど利用できないという時間設定になっていると、勿論、市の職員に関してもそうですよね、8時に庁舎につくように設定してあれば利用も考えられると思うのですが、その辺の設定が無いというのは残念という気がします。それと、今お聞きしたのですが、子どもの料金 50 円で設定になっていますが、一応小学校以下ということらしいですので、中学生は大人料金になるということなので、その辺もはっきり記載なくていいのかという気がしますけども、その辺は如何でしょうか。

[中園会長]

事務局からお願いいたします。

[事務局]

最初に通勤通学の時間設定に関しましては、前回もお話がありましたが、今回の実験は、日中の移動を実験させていただいて、通勤通学は来年度以降、また実証も踏まえて含めたところで検討をしていきたいと思っております。運行上、通勤通学の渋滞等も考慮する時

間設定というのが、実験の中で、まだ難しいのかなというところと、日中の移動というのを今回の主に考えておりますので、その辺はご了承いただきたいと思います。それから、子ども料金の表示の仕方に関しましては、路線バスの運行上は、表記というのは車内にどのように表記をされているのかというのを事業者の方にアドバイスいただきたいところですが、この運賃の表示の仕方ですら適正な書き方というのがあれば、電鉄さんのほうからご指示いただきたいと思います。よろしくをお願いします。

[小田原委員]

熊本電鉄です。通常、運賃の表示をする場合、大人、子どもという表現、大人、小児という言葉を使います。小児運賃ということで、子どもというと非常にぼやけてきますので、小児運賃、小学校 6 年生まで小児運賃というふうに提示をしております。通常の路線バスの中にも大人、小児というわけ方をしております。

[中園会長]

ありがとうございます。確かに、子どもというと 18 歳までとかありますから。小児ということで変えられますか。

[事務局]

はい。具体的にこちらに記載するのは小学校 6 年生までをいくら、という書き取りでも問題ないです。

[小田原委員]

それは表現の仕方ですからいいと思います。

[中園会長]

その点は、小児料金というのは小学校 6 年生までと一般常識でありますから、子どもとすると解釈が分かれるかもしれないが、公共料金の運賃で小児という小学校 6 年生というのは通用しているのではないかと思います。

では小児ということで修正していただきます。他にございませんでしょうか。それでは次の議題をお願いしたいと思います。2 番目の乗り合いタクシーについて説明をお願いします。

[事務局]

資料の②をお開きいただきたいと思います。

表のほうは実験運行の説明書きから、裏のほうが地図になっておりますが、まず、表のほうから説明いたします。実験期間は 9 月からの 4 ヶ月間、毎日運行で、予約があったときのみ運行です。利用料金は乳幼児以外、小学生以上を 1 人 200 円、予約の時間が午前の便は前日の 3 時から 7 時、午後の便は、同じく前日の 3 時から 7 時と、当日の 8 時から 10 時の受付としております。注意書きとしましては、決められた予約があったときのみ運行する交通手段だということと、予約をしていないと利用できませんということ。予約時間以外は受付できませんということと、迎車の都合があつて、出発時刻は概ね 15 分ぐらいの余裕時間をとっておりますけれども、それまでに、予約した場所での待機をお願いすると書き方です。乗降場所、時間を確認ください。それから、タクシーに関しましては、乗

り合いタクシーのステッカー、マグネットシートを貼っている車両のみが実験対象の車で
す。ということです。コースといたしましては10コースありますが、それぞれ出発時間を
8時台に設定しております。1,2,3,4便ございます。到着時間も書いてありますが、2便目の
到着時間から帰りの1便目に繋ぐような形で時間設定をしております。2便目が行って、帰
りの1便目が帰ってくるということです。専用電話を3本用意しております、それぞれ
タクシー業者さんに1台ずつ番号を080-2705-5400から01,02と連番で用意しております。
これはそれぞれ、後日タクシー業者様と会議をもちまして、コースの役割分担等をまた会
議させていただきたいと思っております。裏面に地図がございますが、前回まで協議いた
だいた通りのコース設定になっております。植木町の乗り入れと泗水の乗り入れ等は協議
の上コース設定を組ませていただくような形になっております。タクシー停は主に、公民
館、集落センター等、お年寄りが待機しやすい場所を現地を確認いたしまして、設定をさ
せていただきました。軒下があるとか、危なくないような待機場所を設定しております。
内容に関しましては本日のご意見を校正に加えまして、こちらもチラシを印刷して対象地
域に配布という形をとらせていただきたいと思いますと思っております。それから、乗り合いタクシ
ーのマグネットシートというのがA3の横でデザインをしておりますが、これが、タクシー
のドアに貼り付ける左側の縦マグネットシート、右側が乗り合いタクシーの停留所のデザ
インです。市のカラーを使ってデザインをしております。チラシとマグネットシートの説
明は以上です。

続いて今のルートマップとマグネットシートの中に1枚、聞き取り調査用のシートが挟ん
でありますが、それについて説明をいたします。

乗り合いタクシーにつきましても、実際、利用した方に直接聞き取り調査をします。聞き
取り調査につきましては、バスと違ひまして、一緒に乗り込むという形はできませんので、
買い物先、或いは買い物から帰ってきて、バスで降りたときに予約状況を聞いておきなが
ら、確認をして、降りたところで聞き取りをするというようなこととなります。調査日等
記録したあと、やはり近くで示しております、年齢、性別、免許の有無、家族の送迎の有
無、最寄りのタクシー停、今日の利用目的、それから、タクシーの利用は何回目であるか、
よく利用する曜日、温泉でありますとか、買い物でしたら安売りの日等が決まっていると
ころがありますから、そういう特徴がでてくるだろうと思います。環状バスにつきましても、
既存の循環バスはこの地域は残したまま、タクシーの実験をいたしますので、循環バ
スを利用しているか、利用している場合はタクシーとどのように使い分けをするか、9月か
らタクシーと平行して同じ期間、環状バスも走りますので、環状バスは利用するのか、利
用している場合はタクシーとどのように使い分けしているのか、或いは、乗り継ぎをしてい
るのかというようなことを聞きます。そして、乗り合いタクシーの改善点として予約の方
法、時間やルート設定、料金や作業、そういったものについて聞きます。環状バスですと
か路線バス、電車そういったものとの連携をどうするか、基本的には大きな環状バスがで
きましたら、それへの乗り継ぎというような形で乗り合いタクシーは考えられますので、

実際に乗り継ぎのようなものが便利なのか、ややこしくて使いにくいということがあるのか、そういったことを聞きます。乗り合いタクシーというのは、買い物とか目的地の玄関先まですぐに行けるという便利さがあります。それから必要なときに予約をすれば、いつでも乗れると、曜日が決まっているわけではないという循環バスとの違いがありますので、そういうタクシーさえあればいいというのか、タクシーだけではダメで循環バスのようなものがいいという方もあると思いますので、その具体的な理由も含めて聞いてみたいと思います。あと、その他自由に意見を伺うというのが聞き取り調査です。その裏のページで少し大きな文字であります、これは、原寸ははがき大だと思ってください。お客さんがいつ乗られるかというのが分かりませんので、毎日調査員が控えているわけにはいきませんので、タクシーの運転手さんをお願いして、乗ったお客さんに対して、このはがきアンケートを渡していただいて、ここに書いてありますような、いつ乗って、どこに行って誰と乗ったのか、それから、自由意見も含めてはがきの中で収まる分量ですが、これを必ずお客さんに渡していただいて、書いた上で投函をしていただくということで、期間を通して数たくさん、どういう属性のお客さんがどこに行ったかというのを把握するためにはがきアンケートもしたいというふうに思っております。このはがきと先ほどの直接の聞き取り調査を両方やることによりまして、このタクシーの効果につきまして、確かめたいと思っております。以上です。

[中園会長]

ありがとうございました。乗り合いタクシーは合志市としては初めての試みでありますので、ご意見をお願いしたいと思っております。

[溝上副会長]

実際にやっているのは菊池とかで成功しているという話は聞いておりますが、うまくいった理由や、悪い点があるのか、また現時点での予測はどうか聞きたい。このはがきのアンケートは是非、通しナンバーをつけていただきたい、それと、乗り合いですから何人か誘い合って乗られるので、代表の方だけに書いてもらうのか、それとも全員に配られるのか、できれば全員に配っていただいたほうが自治区が分かるかと思うのですが、乗り合いだから予約のときにすればできないこともないが、自治区はきちんととれるようにしていただくといいかと思っております。

[中園会長]

今の原案について確認をお願いしたいと思っております。

[事務局]

予測というか、地域的にどう利用されるかということですが、地図を見ていただくと、運行する前の予測というのはなかなか難しいのですが、計画したなかでは、黒松や合生のほうは相当便利になるのではないかという予測はしております。それから、日向、新迫方面、竹迫、野々島周辺は環状バス等ありますので、その辺が料金が違うのと、環状バスは時間通り 1 時間に 1 回行きますので、環状バスが走っている間に乗り合いタクシーの利用が、

環状バスと重複する地域がどういうふうになるのかというのが関心があります。それと、群方面が下群、群、上群というコースを黒石駅に設定しておりますが、ここが、どういう利用の仕方をされるのか、どれぐらい利用があるのかやってみないと分からないのですが、ここは、ほとんど何も無いコース設定になっていきますので、実験においては関心があるところです。あと、野々島から植木方面というのは産行バスが以前走っていたコースの代替になりますので、こちらも見込みぐらゐの利用はあるのではないかとということで事務局としては考えております。

[溝上副会長]

目的というか趣向型であらかじめ考えられておいて、どういう風に達成されるか、どこを改善されるかとか、あらかじめ想定を検討されたプロジェクトをされるといいのではないかと思います。それから今回は無理ですが、例えば熊電との取り組みで御代志駅、黒石駅へ行くのがありますね、こういうところでは、例えば割引等も考えるとか、他の手段との乗り換えなども考えていくと面白いと思います。

[中園会長]

さっきのはがきアンケートですが、通し番号をつけるというのはよろしいでしょうか。

[事務局]

はい、大丈夫です。

[中園会長]

代表にするのか全員にするかというのはどうでしょうか。

[事務局]

全員です。

[中園会長]

では全員ということでお願いします。

基本的なことですが、乗り合いタクシーは何名から受付するのですか。

[事務局]

お一人でも受付できます。多ければ作業をふやして、運行を1台目2台目という形で増やして運行いたしますので。

[中園会長]

一人でもPRするかどうかですが、PRしていいわけですか。

[事務局]

基本的には乗り合わせというものですが、一人でもどうぞ。というふうにしては。

[中園会長]

利用者がひっかかる部分だと思いますが。

[事務局]

お一人でも利用できます。という書き方はこのイラストあたりにでも入れるとか。

[中園会長]

乗り合いタクシーと謳った時点で普通の人はやはり一人ではだめだろうと思うと思います。

[事務局]

一人の方が複数予約をすれば結果的に乗り合わせになりますが、ひとりでも予約はできます。という書き方をイラストあたりに少し目立つように入れてみてもいいと思います。

[溝上副会長]

結果として乗り合いになればいいわけで、バスの小さい版と思えばいいのです。

[中園会長]

お申し込みは一人でもできます。という形ですね。

先ほどおっしゃった、菊池の成功例と失敗例というか何か聞いてらっしゃいますか。

[事務局]

菊池地域の結果的にはバスの代替で一番は費用面でかなり削減できたと、半分ぐらいに市の持ち出しも減っている。主に利用の仕方としては予約のめんどろさがありますが、以前あったバス停を利用して運行していますので、メリットというのはききますが、デメリットというのは、あえてあれば、市外の大津、阿蘇への市を超えての運行をするときに、お互いの行政の役割とといいますか、費用負担というのが、小さいところでいろいろできているということで、運行上は特に問題ないという話を聞いております。

[溝上副会長]

新たに路線をひいたところというよりは、昔バスが走っていたところが廃止になって、その代替としてこの乗り合いタクシーを走らせたところが、収益がいいというのが菊池の例ですかね。費用が少なくなっている。

[事務局]

勿論そうです。利用者の実数はそんなに変わらないと思います。

[中園会長]

何かご質問、ご意見ありませんでしょうか。

[村上委員]

チラシについて、予約はしたけれど、急遽都合が悪くなったのキャンセル、その表記もされていたほうがいいのではないのでしょうか。こちらの問題ですが、許認可の関係で9月1日というのは難しいのではないかと考えています。事務局さんはどういう風にお考えですか。

[事務局]

キャンセルがあった場合の表記の仕方というのは、予約電話番号をタクシー券に時刻表と合わせて記載いたしますので、タクシー券にはキャンセルがあった場合と、チラシにも急遽取り消しがある場合は連絡がほしい旨を、記載しようと思っております。それから、許認可が9月1日は難しいというのは、運行は本当は9月1日からしたいのですが、免許の事務手続きが8月いっぱいには認可がおりないということであれば、協議会の中で、開始日というのを具体的にいつからできるのかというのを運輸支局のほうからご指示をいただくと決定していきたいと思っております。

[村上委員]

今の段階なので正式なことはいえませんが、どんなに早くても10月ぐらいしか間に合わないのではないかと、9月中は無理だろうと思います。

[松永委員]

何故そんなに時間がかかるのですか。申請はいつしておられるのですか。

[事務局]

申請は6月末に段取りして、タクシー協会のほうから7月の上旬には出してあったはずで

[杉野委員]

当初の協議会の設立は6月23日付でございました。先ほどお話がありましたように、新規認可を受けなければいけないわけですが、関係資料がすごく多くなりまして、各3社が揃ったのは7月の中旬ぐらいで資料が揃いました。それから支局のほうに申請をしまして、それから審査という形になってくるものですから、6月23日付で提出したわけでは無いのです。

[中園会長]

7月中旬に出されて、10月から大丈夫だろうという話ですが、標準処理日数なのですか。

[村上委員]

3ヶ月ぐらいの処理なので、短縮しても10月ぐらいには大丈夫ではないかという感じです。

[中園会長]

そうですか。そうしましたら、実験運行の期間をあげさせていただいて、確定次第入れてチラシを作るといことでご理解いただいでよろしいでしょうか。最大限急いでいただくということをお願いしたいと思います。

乗り合いタクシーについて何かございませんか。聞き取り調査表のほうでもいいです。

[溝上副会長]

バスは日頃乗っていたり、通っているから分かります、循環バスや環状バスなど、ただ、乗り合いタクシーというのは、今まで経験をされていないし、一体どんなふうなのだろうか、よく分からないからいやだと、最初はあると思います。ですから、できるだけ、広報が特に必要ではないかと思うし、200円だったらすごくお得ですよ、本当は。是非使っていただいで、乗り合いになると差額は少なくなりますから、たくさんの人に定員の3人から4人乗ってくださるようになるのが一番いいわけで、できるだけ、この仕組と便利さを、十分、告知していただく機会をつくっていただくのもいいのではないのでしょうか。

[中園会長]

広報のほうはどのように考えておられるか、お願いします。

[事務局]

タクシーに関しましては、チラシに加えまして、広報誌の掲載もいたします。それから、各地区には説明に回る機会を設けたいと思っていますので、チラシ配布後に乗り方を説明

できるような説明会というのも希望される区なり、地区には実際こういうふうな乗り方ですと説明に回りたいと思っております。

[中園会長]

広報は9月号になるわけですね。

ちょうど9月議会で区長会がありますね、区長会でも説明したほうがいいですね。

[重光委員]

乗り合いタクシーという原点から進めてきて、非常にいいと、これまでの3ヶ月きておりますが、先ほど、一人でも予約できるとおっしゃいました。一人でも予約できる、そして200円、乳幼児、小学生以下は無料、そういうことであれば、そこにある事業者の方がタクシー事業の一環を脅かすのではないかと、あくまでも、地域に今必要である乗り合いタクシーという位置づけで考えていただかなければならないと、私は思っております。取り組み自体は乗り合いタクシーということで、非常に交通の便が悪いというところにこれを起用するというところで賛成はしております。ただ、一人でも呼ばれるということであれば、その方たちがずっとそれを呼び出したときに、高齢者とかそういう部分ではまた別ですが、どなたでも呼べるということであれば、事業者にその辺は聞きたいのですが。取り組みに関しては賛成です。しかし、その辺はどうなのかと思います。

[中園会長]

事業所の方如何でしょうか。

[事務局]

実験運行を行う上では、これも試験したうえで通常の営業にどれだけ影響があるのかというのも、ご協力いただくということで、今までお願いしてきたつもりですので、導入後も本来の営業に影響があるとか、事業ができないということになれば、また、検討しないといけないようなこともでてくるかもしれませんが、今の考えとしては、路線バスの代替交通手段として、バスがなくなった路線の新しい交通手段という取り組みをさせていただきたいということで、今まで、計画の中で行ってききましたので、事業者の方には4ヶ月、免許を取れたあと実験を行う期間にご協力いただければという思いで事務局としては考えております。後は事業所さんのお考えと率直な意見をお聞かせいただけたら、今後の検討の課題にはなってくるかと思っておりますので、よろしく願いいたします。

[杉野委員]

住民に対する周知、これは絶対にしなければいけない、要望があったらではなく、必ず地域に行って、システムを十分理解していただくということは絶対しなければいけないと思います。利用者への周知が一番大事だと思います。

[松永委員]

環状バスは21年9月から12月一杯ということで、環状バスのほうは免許の心配等はないのですか。

[小田原委員]

先月受領していただいております。

[松永委員]

乗り合いタクシーのほうが1ヶ月遅れるということであれば、実験期間も1月いっぱいと考えられるわけですか。バス、タクシー同時に実験運行に入るか、タクシーだけ1ヶ月遅れるか、そこははっきりしないと。

[中園会長]

質問ですが、バスのほうは100円から200円に上がるかもしれないという調査票もあるのですが、乗り合いタクシーの場合は200円でずっといくわけでしょうか。

[事務局]

あくまでも実験でありますので、料金についてもこれで妥当かというような聞き方はしたいと思います。あとは実際の利用状況を見て、経済的な負担もありますから、200円でずっと通すということを前提とするわけではありませんので、その辺も説明したうえで、料金設定の妥当性とか上限いくらまで出せるかということを取り上げたいと思います。

[中園会長]

先ほどご質問があった、運行時期をバスとずらすのかどうかということですが。

[事務局]

考え方としては、環状バスとタクシーを運行するときに、9月から同時に4ヶ月という考え方もありましたが、免許が例えば10月からということになれば、1月環状バスだけ運行した場合どうかということも実験の一つとしては、検討の材料にはなると思います。それに加えて10月からタクシーを4ヶ月運行して1月までタクシーを運行したときに、最後の1月だけ、タクシーだけ運行したときにどうなのかというのが、両側の9月と1月で、環状バスとタクシーだけの運行の検討ということも考え方では可能かと思っております。

[中園会長]

乗り合いタクシーは4ヶ月するというので、時期はずらすということですね。

[事務局]

9月と1月のそれぞれの効果を見ていくということです。

[中園会長]

単独の様子もみるということですね。

[吉永委員]

確認ですが、降車場所も停留所ですということでもよろしいですか。

[事務局]

はい、今地図上に入れております、公民館はタクシー停というデザインのバス停に似たような停留所を作って載せていただきます。時刻等もこれに表記しまして、実験運行でいつからいつまで、この時間で運行します。というのをタクシー停ごとにつくります。名称を入れたものです。

[吉永委員]

どこかに、下車場所は、タクシー停ということをしておかないと、タクシーなので、どこ前に降ろしてくださいということに成りかねないと思います。ですから、先ほど言われたように、一人でも乗せるけれども、乗り合いタクシーですから、停留所でしか降りられない、ということ明記したほうがいいのか、ということと、アンケートの中に逆にもう一つどちら方面のコースがあればいいのか、とか新しくどこを希望しますか。というのを含めたほうがいいのかと思います。それと、もう一点は、子どもだけの利用です。子どもだけの利用が出来るか出来ないかをきちんと明記しておかないと、子ども一人でもいいということであれば明記する必要はないのかもしれませんが、子どもだけの利用はできません。と書くのかそこもはっきりしたほうがいいのかと思います。

[事務局]

チラシにタクシー停のデザインを入れます。こういうタクシー停があります。そこで降りしてくださいというような形でタクシー停を、先ほどデザインを載せていたようなものを、こういうものが置いてありますというのを載せさせていただきたいと思います。それと、乗降場所も限られているということと、アンケートも新しいルート等の考えがあればご意見聞かせてください。というような書き方をします。それと、通常タクシー業者さんのほうでは子どものみの乗車がどうなっているのかということをお聞きしておきたいのですが。

[小森田委員]

予約だけで小学校の子どもさんの送り迎えはしていますが、他に子どもが直接乗って利用するということはありません。親御さんが連絡や電話をして、どこに向かえにきてくださいというのはやっております。

[中園会長]

チラシの利用料金のところをみると、保護者同伴に限り無料と書いてあるので、これだと、保護者同伴ではなくても利用できるかと読めるのですが。当然、子どもだけが乗るというのも想定してあると思いますが。

[事務局]

ここで書いているのは、大人が小さい子どもさんを連れて乗った場合に、乳幼児の方は無料としてありますが、ここでは小学生以上の方が大人料金 200 円お支払いいただきます。というつもりで書いておりますので、子供だけ乗ってくるという書き方はしておりませんので、通常、先ほどお話があったように、予約は保護者の方がされてくると思いますので、予約があったときに保護者の予約があつてこういう人が乗ってくるというようなのを事業所のほうでやるのか、乗ってはいけませんという書き方をしているのか悪いのか。

[中園会長]

逆に子どもだけが乗るのを制限する理由というのが分からないと思いますよ。

[吉永委員]

実際、公共交通なので、子ども一人だけでもありだと思います。ただ、会議の中で、その

認識をきちんとしておかないといけないと思うので、言ったのですが、保護者が予約する場合もあるかもしれないし、子どもが予約する可能性もあるわけですね、それは公共交通としては有りなので、一つの認識としておくというのは、ここで、あくまで実験だから子ども一人の予約は受け付けませんとしてしまえばそうですが、あくまでも、それは有りということで認識するのかということだけをはっきりしたほうがいいと思います。

[重光委員]

いろんな意見がでましたが、そこに通ずると思うのです。要は一人で呼べる、子どもだけでも呼べるようになる、そしたら、当初の乗り合いタクシーいわゆる不便、高齢者もいるという中で、乗り合いタクシーが、普通一般のタクシー事業でも今、変わろうとしているのですよね。200円で乗れるタクシーに。それで先ほど事業所の方にお聞きしたのです。予約さえ、きちんとならば、タクシー事業の部分に入り込んで地域公共交通として、200円がいいのか、とそうなりますから、一人で乗れる位置づけと、勿論、実験ですから今後いろんな意見がでますし、支障も上がってくると思いますが、取り組みは賛成です。但し、そういう位置づけが、子どもだけでも乗れる、一人でも乗れる、予約できる、200円で決まれば、タクシー事業とそのものが、この地区には存在しないということになる。コースが決まれば、他地区に行く場合はタクシー事業として成り立つでしょうが。

[中園会長]

認識が間違っていて修正いただきたいのですが、そもそも、乗り合いタクシーをどうしてするか、というと公共交通が無い、交通弱者の手段が無いということですね、子どもや高齢者というのはまさに交通弱者です。その人たちを救うためにあるのですから、それを排除する理由は無いです。

[事務局]

運行上のことですが、一人でも運行して走ったら市のほうが負担しますので、新規の顧客が増えたらその分、タクシー事業者さんはメリットになってくると思いますので、今不便なところで利用が少ないところも、こういった利用がしやすくなることで、新しく利用が増えたと、その分は事業所のメリットになってくると思います。

[松永委員]

事務局のほうにお尋ねしますが、この乗り合いタクシーを計画されたとき、子ども単独の乗車を想定の中に入れていたか、お聞きしたいと思います。高齢者、子どもが交通弱者に入る、高齢者は別として、子どもの場合、親の意思と子どもの行動が異なっていた場合はいかなる方法でいくかということです。

[事務局]

利用の仕方としては保護者の方が予約をするというのが常識的なことだと思っておりましたので、子どもだけが予約電話に電話して予約するようなことは想定外でした。この中に書くとすれば、ここまで書くのかどうかというのもお聞きしたいのですが、保護者の方でしてくださいという書き方をするのかということです。小学生がタクシーを予約し

で乗るといのは一般的にはあまりないことだと思いますけど、通常のタクシーの利用の仕方として、そういったのは当初想定しておりませんでした。

[中園会長]

予約に限って保護者の方がして下さいとするのかどうかですけれども。さっき子どもだけ乗ってどこに行くか分からないという心配はですね、降りるところは決まっていますから、安全だと思いますが。

[松永委員]

運行会社、タクシー会社の方が、子ども一人が乗っていた場合、タクシー会社の方がある程度責任を感じるのではないのでしょうか。

[小森田委員]

一応、会長がおっしゃったように、予約は保護者のみのほうがいいのではないですか。何かあった場合が業者としても心配しますから。そういう文言も入れてもらったほうが業者としても助かります。

[中園会長]

電話ですから、子どもかどうかの確認は出来ませんよね。

予約を受けられたときに、いかにも子どもだと思われたときに、タクシー会社さんのほうで聞いていただくと、それではだめでしょうか。あらかじめそういうのをするというのもどうかという気がします。これは私見です。

[事務局]

未成年者の利用は保護者の予約でと、とりあえず書いておくのか。

[中園会長]

件数的には実験期間中にあるか無いかだと思います。

[吉永委員]

万が一ということは想定したほうがいいのかと思いますが、一切考えないということであれば別ですが。

[松永委員]

まず、子どもが自分で予約して乗るだろうか。

[事務局]

何歳という書き方はしませんが、お子様の利用は保護者の予約で責任を持って、というのを一言書いておくとは一般的には注意はされると思います。事業者の方にも運行上は、子どもだけで乗り込んでくる場合には注意してもらいたいようなことでしていただくしかないと思います。

[中園会長]

事務局からの話の内容でよろしいでしょうか。細かいことはまた打ち合わせさせていただきます。

[溝上副会長]

お年寄りの方のことを心配しているのですが、携帯の番号ですよ、お年寄りの方は日常的にこういった番号使われるのですか。説明のときに短縮ダイヤルに登録してください。とそこまで丁寧にしてあげるとは利用者を広げることになると思いますが、我々の常識では当たり前でも、なかなかそこまで使いこなせない方というのは、たくさんおられると思います。

[事務局]

短縮ダイヤルを目の前で登録してあげるとというのは、一人一人には出来ないと思いますが、直行バスでも循環バスでもそうですが、故障で車が変わったとか、今まで来ていたものと違う色のバスが来たとか、或いは、直行バスが走ることでほとんど今までのルートと同じで少し短くなるだけということだけでも、新しいものに対してはたいへん臆病になって慣れるまで時間がかかるというのは基本的にありますので、ましては、タクシーのことになりますとバスとは違いますので、どなたか最初の方が利用するのは安心してとる、ということになりますので、最初に使う人を早めに作りだして、よかったと言ってもらえるような、そういう意味では細かい提案があるだろうと思います。電話につきましては、確かに080は慣れない方もおられるかもしれませんが、安心してかけてくださいとお願いすることだろうと思います。いずれにしても、新しいものに臆病になってなかなか手を出せないところがありますから、そこを最初に崩してあげるというのを上手に早めにするということだと思います。

[溝上副会長]

是非、お願いしたいと思います。例えば、西鉄のバスは、携帯にバスロケーションシステムで、自分の乗りたいバスが後何分後に来るというのが入ってきます。これも、お年寄りは分からないから、携帯を見る講習会を西鉄は実施しています。そこまでして、利用者を増やして安定させるという、とても丁寧なことをやっておられるので、本当にこれはコミュニティです。そこまでしてあげられるといいかと思います。

[中園会長]

きめ細かいPRということで、他はよく出発式のようなのをしておられるみたいですが、そういう計画はありますか。

[事務局]

先ほどお話がありました、きめ細かいサービス、説明というのはコースごとに、チラシを、予約の仕方を大きな紙に書いたものを用意して、説明会では電話のかけ方等を説明したいと思います。出発式ですが、山鹿で先日されておりますが、運行の開始に合わせて、何か話題提供になって、マスコミ等で報道していただけたらと思いますので、企画をしたいと考えております。

[中園会長]

一点ですが、環状バスと循環バスとよく出てきますが、私たちはずっと議論していますので分かりますが、一般の方は違いがわかるのかと思います。環状バスというのは、あくま

でも新しく始まった、真ん中を回るバスですという説明をつけたほうがいいと思うのですが。どうでしょうか。

[事務局]

既存の循環バスとは違う、新しいもの始めたと分かるように工夫をしたいと思います。将来的には環状バスや直行バスなど、それぞれの愛称を募集して、親しみいただくような乗り物にしたいと思っております。環状バスのチラシについては、そういった形で工夫をいたします。

[中園会長]

では、その他で、エーネーションについて、電鉄さんのほうから如何でしたか状況をお知らせいただけたらと思います。

[松村委員]

今、新須屋の自転車駐輪場のほうの舗装工事をしていただきまして、もうしばらくすると完成すると思います。本当にありがとうございます。また、パークアンドライド、こちらにつきましても、新たな取り組みということで、現在はまだ利用者は3名ですが、平日の利用、土日の利用ということで新たに区画わけを検討されておりますので、こちらのほうも、新たに取り組んでいきたいと思っております。

8月1日の農業公園で開催されました、朝日放送開局20周年コンサート、エーネーションですが、ほとんど渋滞も無く、スムーズに交通も流れましたし、周りにも影響が出なかったと思います。我々も直接交渉したわけではございませんので、JTBさんからバスを運行してほしいとかあっただけのものですから、それに対応したという状況です。2万3千枚、売れておりまして、実際には1万9千名ぐらいしか来ていないのではないかと、残りの4千から5千近くはダブ屋さんに眠ったのだというような話が出ております。といいいますのは、バスのほうがセンターから辻久保、こちらが3,000名ほど、光の森から辻久保までが3,000名ほど、電車が1,800名、ツアーバスが600名、合わせますと、8,400名、自家用車が約4,500名程度ではないかということでありまして、だいたい13,000名ぐらいが考えられる。そうなりますと、4,000名近くが御代志駅の新設などで停めて、徒歩でおいでになっている可能性があるという状況でした。大津署にもご挨拶に伺いまして、打ち合わせしてきましたが、ほとんどスムーズに流れたという状況です。特に渋滞します。とテレビでコマーシャルが流れておりましたので、相当、市民の方が迂回をされて、ご協力なされたおかげではないかと考えているところです。あくまでも、先ほどの数字は実際にカウントしたものではありません。大体60台ぐらいバスが走って、定員40から45名ですので、それをかけた数字です。以上、ご報告です。

[事務局]

資料のホッチキス留めの、直行バス聞き取り概要の1番最後のページですが、広報の9月号に掲載する案で、先ほどありましたパークアンドライドに関しましては、最後の裏面に、周知状況をいうのを入っております。合志市では、広報誌とホームページ、各区の回覧、

会合等での周知、近隣の市町村へのホームページや広報誌の掲載、熊本市、熊本県にもご協力いただいて、取り組みをさせていただいております。その他になりますが、熊本市にご協力いただきまして、リーフレットとポスターを印刷します。これは各、市内の事業所、デパートや金融機関、官公庁、藤崎宮近辺の事業所に配布してPRしようと思っております。これで、相当効果も上がるかと思っております。9月号の掲載に戻っていただきますが、今現状として3台程度のお申し込みです。利用の形態を土日祝日も買い物用にしたいという意見が以前から意見交換会や労連の会合でもありまして、平日は使わないが土日祝日で利用したいという意見がありましたので、利用モニターという形で40名ほど募集をかけまして、わずかですが利用料をいただきまして、土日祝日の利用に対してのモニター募集を行いたいと思います。モニター募集の掲載案です。一番下には公共交通の実験運行をしていますという書き方ですので、乗り合いタクシーが9月から難しいということであれば、内容を変えていきます。パークアンドライドとしては、そういった取り組みを随時行っております。以上です。

[中園会長]

パークアンドライドが当初の予想に反して少ないということで、土日の利用も促進するという事です。

[溝上副会長]

モニターというのは何を目的にモニターされるのか、将来的には契約ではなく、誰でも土日は空いていれば使えるというのを想定されているのか、それとも土日祝日も契約している車だけを対象にされるのか、どちらですか。

[事務局]

フリーで土日祝日に利用をすると、対象者の集計ができないので、申し込みいただいた方に、土日祝日使ってみてどうだったか意見をいただくのと、将来的には当然、平日しか使わないという利用者の方もおられると思いますので、曜日ごとの利用の区別や料金も当然平日だけの分をいただくというのも想定できますし、これをやってみて検討したいと思います。数ヶ月程度の更新期間を設けながら、土日祝日を定額いくらということで、定期券購入の有無に関係なく、土日祝日だけの方の許可証をだして、利用しやすいようにできたらということで、稼働率を上げたいというのが一番の目的です。土日祝日も空いているのが施設的にもったいない気がするものですから、土日祝日の利用を検討をしたいということで今回こういった取り組みをさせていただきたいと思います。

[溝上副会長]

もったいないので、出来るだけ使うのはいいのですが、先ほど伺ったように、固定客になってしまうのか、空いていれば誰でも入れるようにするのか、それを含めて検討するという事ですか。

[事務局]

はい、そうです。

[溝上副会長]

是非、お願いします。

[松村委員]

付近の方から駐車を貸してほしいという問い合わせが十数件あり、結局、県営住宅の方が、2台3台、車を持たれて、停める場所が無いので、駐車場として使わせてほしいと、通勤には車を使い、帰ってきたときに、停めるという形だと思いますが。そういうのが増えてきますと、実際的には目的としてはパークアンドライド、車を中心部に入れないということですので、その辺はしっかり注意しないと、違法駐車が発生する可能性もありますので、慎重にご審議をお願いしたいと思います。

[溝上副会長]

私は駐車場に使うのは絶対だめだと思います。例えば土日でも、たまたま渋滞が起こったりするわけです。そうすると、そこまで行った人に情報与えて、今、車で都心に行くより、ここに置いていきなさい。というようなのを外国や日本でも、金沢などが行っています。経路上の混雑状況を知らせてドライバーに選択させるように。それには、ここは、非常にいい場所です。そういうのに使ってもらえたらいいと思います。

[中園会長]

土日利用の第一段階でこういった形で契約してもらって、その状況をみながら、先ほど提案のあったやり方も考えてみるということでもよろしいでしょうか。

[溝上副会長]

今3名、ご契約されている方はどちらから来られている方ですか。

[松村委員]

菊池と楠です。

[溝上副会長]

ということは、その辺には潜在的需要があるということですよ、楠のほうの方で都心に勤められている方へ配るとか。ターゲットを絞って周知を図ってはでしょうか。

[中園会長]

今日の議題はこれで終わりたいと思います。ありがとうございました。では事務局のほうに返します。

[事務局]

それでは本日の議題、全てこれで終了させていただきます。閉会をいたしますがよろしいでしょうか。それでは、長時間に亘る議論、大変ありがとうございました。以上をもちまして、第9回目の公共交通協議会閉会いたします。お疲れ様でした。

閉会 (11 : 10)